

明るい未来へ飛躍する志木市を目指して

# 令和5年度予算

特集

問合せ／予算に関すること：財政課 ☎048(473)1115

施策に関すること：政策推進課 ☎048(473)1114

## 令和5年度施政方針

令和5年志木市議会3月定例会において、令和5年度当初予算案を提出し、議員の皆さまの慎重な審議をいただき、無事に可決成立となりました。

新複合施設を中心に、これまで以上に市民力を発揮できる環境整備を進めることで、志木市のさらなる発展を目指すとともに、質を落とすことなく安定したサービス提供を行う堅実さはもとより、多様化するニーズに対応する柔軟性も兼ね備えながら、志木市将来ビジョンで掲げた「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現に向け、4つの戦略プロジェクトを軸に、着実に取組を進めてまいります。

## 市民の健康づくりプロジェクト

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施によるきめ細かな健康支援や介護者サロンの活動場所の拡大、令和5年2月にリニューアルオープンしたふれあい館「もくせい」での事業を充実させるなど、本市の宝である市民力を今後も発揮していただくことができるよう、市民の皆さまの健康づくりを応援します。

## 子育て世代定住プロジェクト

近年、全国的な問題として取り上げられているヤングケアラーの実態把握とその支援をするとともに、いわゆる中1ギャップの解消や学力向上を目指す小中一貫教育をさらに推進するなど、将来的な人口減少に備え、子育て世代が定住し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実に努めます。

## 暮らしやすさ向上プロジェクト

これまで整備してきたウォーキングコースに誰もが休憩のできる「いこいのベンチ」を設置することで、コンパクトな市域を生かした居心地がよく、歩きたくなる「ウォークブル」なまちづくりを推進します。また、高齢化の進展に伴い、火葬場利用の増加が見込まれる一方で、朝霞地区4市内に火葬場が設置されていない状況を踏まえ、4市共用火葬場設置に向けた協議会を設置し、下宗岡1丁目地内における火葬場設置の検討を進めます。

## 魅力発信プロジェクト

民間のノウハウを生かし、地域の関係者が一丸となって事業を進めるため、事業者が中心となって設立する「志木街づくり株式会社」を主体として、空き店舗情報の発信や貸し手と借り手のマッチング出店相談を行う「中心市街地新規出店支援センター」を運営するなど、本市の地域資源を活用し、これまで以上のにぎわいを創出するとともに、その魅力を全国に発信します。

## 市役所改革・新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策については、国の動向や感染状況を注視し、市民の皆さまの生命及び健康を守るため、引き続き対策を講じます。また、志木駅前の行政機能の強化や市民の皆さまの文化・芸術活動の場を確保するため、市民サービスステーションやコミュニティスペースつつじをマルイファミリー志木8階及び1階に新たに開設するなど、多様化する行政需要に対応し、市民の皆さまの利便性向上を目指した行政改革を進めます。

以上、市政運営に関する基本的な考え方について、主要施策の一端を述べさせていただきました。コロナ禍による閉ざされた空間で、市民の皆さまにいかなる支援ができるのか把握しづらい状況が続いた中、「市民一人ひとりが心の中にどんな問題を抱えてきたのか」「afterコロナを見据え、その課題解決に向けて何ができるのか」想像力をしっかりと働かせながら、そして、市の施策が市民の皆さまの笑顔に結びついているのかを常に確認しながら、志木市で生活をする誰もが夢と希望を持って活躍できるよう、全身全霊で市政運営に取り組んでまいります。

# 4つの戦略プロジェクト

## 市民の健康づくりプロジェクト

### 働く世代の健康づくり事業の拡充 93万円

働く若年代のさらなる健康づくりに向けて、アウトドアヨガ事業の参加対象年齢を20歳代から50歳代までに拡充するとともに、SNS映えを意識した情報発信を展開することで、より幅広い世代の健康づくりを支援します。

### 介護者サロンの拡充 32万円

介護を担うケアラー自身の日々の悩みや不安を軽減させるため、本町地区を拠点とする介護者サロンの活動場所を、新たに館地区に拡大します。



## 子育て世代定住プロジェクト

### 小中一貫教育の推進 2,648万円

志木市小中一貫教育基本方針に基づき、一貫した9年間のカリキュラムの編成を進め、令和7年度の義務教育学校及び小中一貫型小学校・中学校の設置に向け、各中学校区における地域の特性を踏まえた推進計画を策定するとともに、小・中学校間のカリキュラム調整などを支援する小中一貫教育推進コーディネーターを2名配置します。



## 暮らしやすさ向上プロジェクト

### いこいのベンチ設置 449万円

市内の歩道空間を活用して、高齢者や体力に自信のない方でも安心してまちなかを歩くことができるよう、ベンチを設置します。

### 防犯カメラ事業の拡充 1,608万円

「犯罪に強いまち志木」のスローガンのもと、犯罪抑止と犯罪の速やかな解決のため、現在、市内120か所に設置してある防犯カメラを2か年にわたり、さらに50台増設します。



## 魅力発信プロジェクト

### まちづくり会社との連携による中心市街地活性化の推進 1,970万円

商業の活性化と都市機能の向上を図るため、新たに設立された「志木街づくり株式会社」と連携し、空き店舗情報の発信や貸し手と借り手のマッチングなどを行う中心市街地新規出店支援センターの開設、起業の機会(チャレンジ)を提供するチャレンジショップの開設に向けた調査・研究、さらには市内を巡って楽しむ回遊イベントを実施するなど、中心市街地の再活性化に向けた取組を開始します。

### 東町ふれあい広場の再整備 2,200万円

東町ふれあい広場について、休憩用のベンチを設置するとともに、園庭のない保育施設に通う園児たちも伸び伸びと体を動かせる空間として再整備を行うことで、まちの活性化につなげます。



## 5つの視点で見る主な事業と予算額



◀令和5年度  
志木市予算及び  
事業概要説明

超高齢社会の進展に伴う医療・介護関係経費などの社会保障費の増加に加え、物価高騰等の影響による事業費の増加などにより、多大な財政負担が見込まれる非常に厳しい財政環境での予算編成にあたっては、既存の行政サービスは安定的に提供しつつ、未来ある子どもたちを支えるための子育て支援策の強化や教育改革の推進など選ばれる志木市の実現に向けた新規事業を展開することからも、堅実に積み立ててきた財政調整基金を、およそ21億6,000万円取り崩すことによって令和5年度当初予算案を調えました。

令和5年度に重点的に取り組む事業や新たな事業などについて、その内容や予算額の一部をご紹介します。

### 1 市民力が生きるまちづくり

#### 後世に残る“志木市の目玉” イベントの創出 11万円

市制施行50周年記念事業実行委員会からの提言や新庁舎等完成記念事業を参考に、後世に残る“志木市の目玉”イベントの創出に向け、市民と市職員で構成する実行委員会を組織します。

#### ヤングケアラー実態調査の実施 264万円

小・中学生を対象にヤングケアラーに関する理解促進のための講座を行うとともに、実態調査を実施することで、本市におけるヤングケアラーの実態を把握し、適切な支援につなげます。

#### 妊婦健康診査助成事業の拡充 13万円

2人以上の胎児を同時に妊娠した多胎妊婦の方に対し、妊婦健康診査費用の追加助成を実施することで、多胎妊婦家庭の経済的負担の軽減を図ります。

### 2 市民を支える快適なまちづくり

#### 集団健(検)診インターネット 予約サービスシステム 88万円

集団健(検)診の特定健康診査及びがん検診では、土・日曜日、祝休日や女性のみが健(検)診を受けられるレディースデイを設定するほか、健(検)診の予約の際は、電話予約だけでなく、新たにインターネット予約を導入し、誰もが健(検)診を受けやすい環境を整備します。

#### ひきこもりアウトリーチ事業 ゼロ予算事業

ひきこもりの長期化を防ぐための第一歩として、基幹福祉相談センターと教育サポートセンター、学習支援事業者など、福祉と教育が連携し、学齢期から若年層世代の不登校やひきこもりの現状把握を進め、必要な支援につなげます。

#### 学校図書館の運営支援事業の 実施 173万円

子どもたちの読解力、思考力、表現力を養う読書活動のさらなる推進を図るため、新たに学校図書館事業推進アドバイザーを配置します。

市内小・中学校図書館の司書教諭や学校図書員に指導及び助言を行うことで、市立図書館と学校図書館との有機的な連携につなげます。

### 3 活力と潤いのあるまちづくり

#### 空き店舗活用事業の拡充 905万円

市内商工業の振興を図るため、空き店舗を活用して、市内で新たな事業を行う事業主を対象に、店舗家賃及び改装費の補助を行います。

令和5年度は中心市街地のさらなる活性化に向け、対象エリアにおいて行う事業に対し、上乘せ補助を行います。

#### 鯉のぼり掲揚事業の実施 10万円

新庁舎建設にあたり休止していた新河岸川の鯉のぼり掲揚事業について、5月5日の端午の節句にあわせて、観光協会と連携し、いろは親水公園を会場におよそ60旒の鯉のぼりを掲揚し、志木市の魅力向上とにぎわい創出につなげます。

#### いろは親水公園左岸広場 芝生化事業の実施 400万円

令和4年8月にリニューアルオープンしたいろは親水公園のさらなる魅力向上とにぎわいの創出に向けて、左岸に位置する広場を芝生広場として段階的に整備します。

### 4 未来を支えるまちづくり

#### 新複合施設建設事業の推進 6億3,312万円

新たな文化・スポーツそして災害時の拠点となる市民会館及び市民体育館の複合施設の建設に向け、令和4年度に引き続き実施設計を進めるとともに、現市民会館の解体工事や市民会館近隣地における駐車場の整備などを実施します。

#### 景観形成ガイドラインの改訂 220万円

景観計画及び景観条例の改定・改正を踏まえ、良好な景観の事例などを解説した「景観形成ガイドライン」を改訂し、景観形成に対する意識の向上を図るとともに、まちの魅力向上につなげます。

#### 館大排水路の改修 1,481万円

坂下橋下流の館大排水路付近における住環境の改善及び防災対策を講じるため、令和4年度に実施した館大排水路改修基本検討に基づき、排水路の地質調査及び水路の遊歩道化に向けた実施設計を行います。

### 5 健全でわかりやすい行政運営

#### 市民サービスステーションの 開設 3,003万円

志木駅前の行政機能の強化を図るため、令和5年5月1日からマルイファミリー志木8階に市民サービスステーションを開設し、休日の転入・転出の手続きやパスポートの申請・交付など業務の拡張に加え、水曜日・年末年始を除く土・日曜日、祝日も開庁します。

#### コミュニティスペースつつじの 開設 1,302万円

市民の皆さまの文化・芸術活動の場を確保するため、令和5年5月1日からマルイファミリー志木8階及び1階にコミュニティスペースつつじを開設し、開閉式展示パネルや多目的室などの貸出しを実施します。

#### 朝霞地区4市共用火葬場の 設置検討 10万円

火葬場利用の利便性を高めるため、志木・朝霞・和光・新座市の4市共用火葬場設置に向けた協議会を設置し、下宗岡1丁目地内における火葬場設置の検討を進めます。

# 令和5年度予算

## まちづくりサポート基金活用事業

市では、「志木市まちづくりサポート基金」として、ふるさと応援資金をはじめとした全国から寄せられた寄附金を積み立てています。令和5年度においても基金を財源とした事業を実施し、ご寄附をいただいた皆さまからの「志木市のまちづくりを応援したい」という想いをかたちにします。

### 志木市におまかせコース 103万円

災害時における迅速な対応に向けて、公園で使用する災害用仮設トイレの保管倉庫を公園内に設置するとともに、発動発電機の配備により、避難所環境の充実を図るほか、取材用高機能一眼レフカメラの更新を行い、さまざまなイベント等において活用することで、魅力的なシティプロモーションにつなげます。

### 子育て支援・福祉環境の充実コース 644万円

総合福祉センターの照明のLED化に加え、庁舎内のキッズスペースで利用する玩具や保育園で使用のお散歩車を整備することで、子育て支援及び福祉環境の充実につなげます。

### 教育環境の充実コース 562万円

市内中学校の音楽備品の購入により教育環境の充実を図るとともに、秋ヶ瀬スポーツセンターの卓球台を更新するほか、いろは遊学図書館の資料の更新をすることで、利用者サービスの充実を図ります。

### 環境保全・地域経済の充実コース 472万円

広報大使であるカパルの遠征等に係る活動費の一部を補助することに加え、いろは親水公園エリア内における鯉のぼり掲揚事業に活用することで、志木市のさらなるアピール強化を図ります。

### 都市基盤の充実コース 4,247万円

東町ふれあい広場を親しみやすい空間となるよう整備するとともに、市内要所へ防犯カメラを増設するほか、劣化が著しい公園遊具の更新や市内の歩道にベンチを設置することで、安全で安心して利用できる都市環境を整備します。

### 新型コロナウイルス感染症対策コース 96万円

柳瀬川図書館の学習スペースにおける間仕切りの設置のほか、アルコール消毒液などの衛生用品を備えることで、感染症の感染拡大防止に努めます。

## 事業判定会の結果を予算へ反映

市民感覚を取り入れた事業の改善などを行うため、有識者と市民で構成する判定員が、事業の必要性を判定する事業判定会を実施しました。

今回は、シェアサイクル実証実験事業をはじめとする4つの事業について判定が行われ、その結果を令和5年度予算へ反映しました。



◀市長へ提出した事業判定結果報告書など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

### シェアサイクル実証実験

判定結果／担当課の要求どおり

令和5年度実施内容／引き続き実証実験を継続する

### チャレンジショップ事業

判定結果／一部見直し

令和5年度実施内容／店舗設置に向けた整備は行わず、マーケティング調査を実施する

### 地域共生を目指すひきこもりサポート事業

判定結果／一部見直し

令和5年度実施内容／支援拠点の設置を見送り、直接対象者や家族を訪問して支援するアウトリーチ事業を行う

### 秋ヶ瀬総合運動場スケートパーク整備事業

判定結果／一部見直し

令和5年度実施内容／スケートパークの整備は行わず、先進事例等の調査・研究を行う

# 一般会計

# 276億9,600万円

対前年度比 -14億6,800万円(5.0%減少)

予算総額(一般・特別・企業会計) 462億7,843万円 対前年度比 -19億2,533万円(4.0%減少)

## 歳入

歳入の大きな割合を占める市民税や固定資産税をはじめとする市税の予算額は110億7,058万円で、令和4年度に比べ、3億4,320万円の増を見込んでいます。

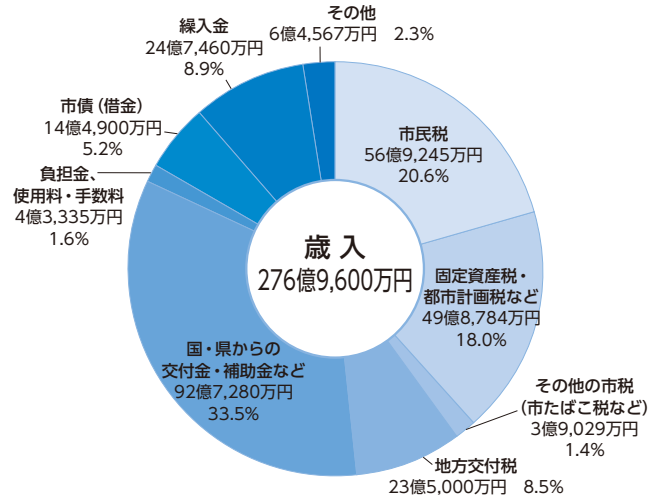
### 主な増減の内容

#### 市民税

個人市民税における納税義務者の増や法人市民税における均等割減免対象額の復活により増加の見込み  
(前年度比 2億3,440万円増)

#### 市債

新庁舎建設やいろは親水公園施設再整備事業の完了による減少  
(前年度比 17億9,550万円減)



歳出は前年度と比較し、市民活動の推進などのための総務費、道路や公園などを管理・整備するための土木費は減少、住民福祉推進のための民生費は増加しています。

## 歳出

### 主な増減の内容

#### 総務費

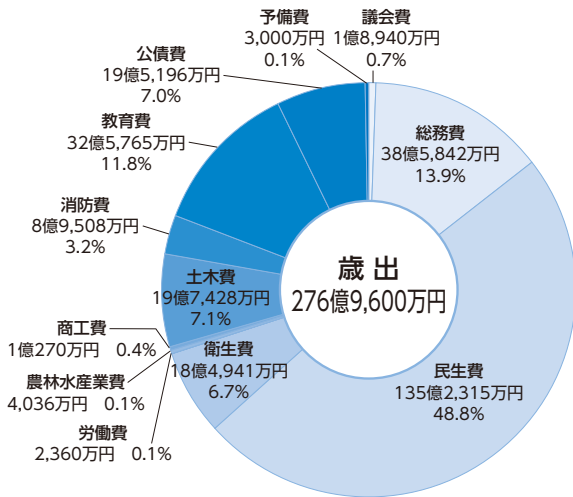
新庁舎建設事業の完了などによる減少  
(前年度比 16億2,191万円減)

#### 土木費

いろは親水公園施設再整備事業の完了などによる減少  
(前年度比 2億1,401万円減)

#### 民生費

自立支援介護・訓練等給付費や地域密着型サービス等整備事業費補助金などの増加  
(前年度比 5億6,900万円増)



## 特別会計・企業会計

特別会計や企業会計は、市が特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置し、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てるものです。

### 特別会計

会計名称	予算額	対前年度比	増減率
国民健康保険	65億564万円	2億4,418万円減	△3.6%
志木駅東口地下駐車場事業	5,176万円	772万円増	17.5%
介護保険	54億2,153万円	1億1,477万円増	2.2%
後期高齢者医療	12億903万円	8,853万円増	7.9%

### 企業会計

会計名称	予算額	対前年度比	増減率
水道事業	23億4,600万円	1億3,854万円減	△5.6%
下水道事業	30億4,848万円	2億8,562万円減	△8.6%

※表示けた数未満は四捨五入